

第2章．ケーススタディ調査の取りまとめ指針

1．地域の知の拠点再生による地域活性化プロセスの検討

(1) ケーススタディ調査の視点

- ケーススタディ調査では、地域の声（地域の課題解決や要望）に基づき、大学等の教育・研究成果・人材（以下、「大学等の知識・人材資源」という。）を、産業やまちづくりなどの実際の活動に着実に結びつけ、地域雇用の創出に寄与していくための方策を検討することに重点を置く。

(2) ケーススタディ調査の取りまとめの方向性

- 上記の目的を果たすためには、大学等の知識・人材資源が、いかなる過程の中で地域の雇用創出につながっていくのか、その過程の中で、いかなる組織や団体が連携し、いかなる役割を担い、発揮していくのかといった、地域の雇用創出、地域活性化に向けた地域の知の拠点再生のプロセスを明らかにしていくことが必要であると考えらる。
- 地域の知の拠点を活用した地域活性化が円滑に推進できる要因として、次頁に掲げるような展開プロセスが実践されていると考え、ケーススタディ調査の中で、その実態や実践にあたっての課題を抽出する。

2. 地域の知の拠点再生による地域活性化プロセス（仮説）

(1) 大学等の諸研究と、地域活性化に向けたテーマとを結びつけるキーパーソンや連携組織が存在

- 地域の大学等の知識・人材資源を活用し、地域活性化につなげるためには地域と大学等との情報交換や地域活性化に向けた意思決定を行う連携組織、大学等の研究・技術や人材をシーズとして発掘し、地域活性化につなげる働きかけを行うキーパーソンや組織が存在することが考えられる。

(2) 大学等の研究・技術・人材の活用方を検討する諸団体（受け皿組織）が地域内に存在

- 大学等の知識・人材資源をいかに活用し、地域活性化につなげていくのかについて、大学等や行政のみではなく、地域で活動する諸団体（例えば、農林水産業にかかわる諸団体、製造等を行う諸団体、観光等のサービス分野を行う団体、市民団体やNPO等の地域づくりを担う団体）と連携をしながら検討していくことが重要であると考えられる。
- また、これら地域で活動する諸団体は、大学等の研究成果を商品開発に結びつける実験を行ったり、販路開拓の調査を実施したりするなどの受け皿組織として期待できる。

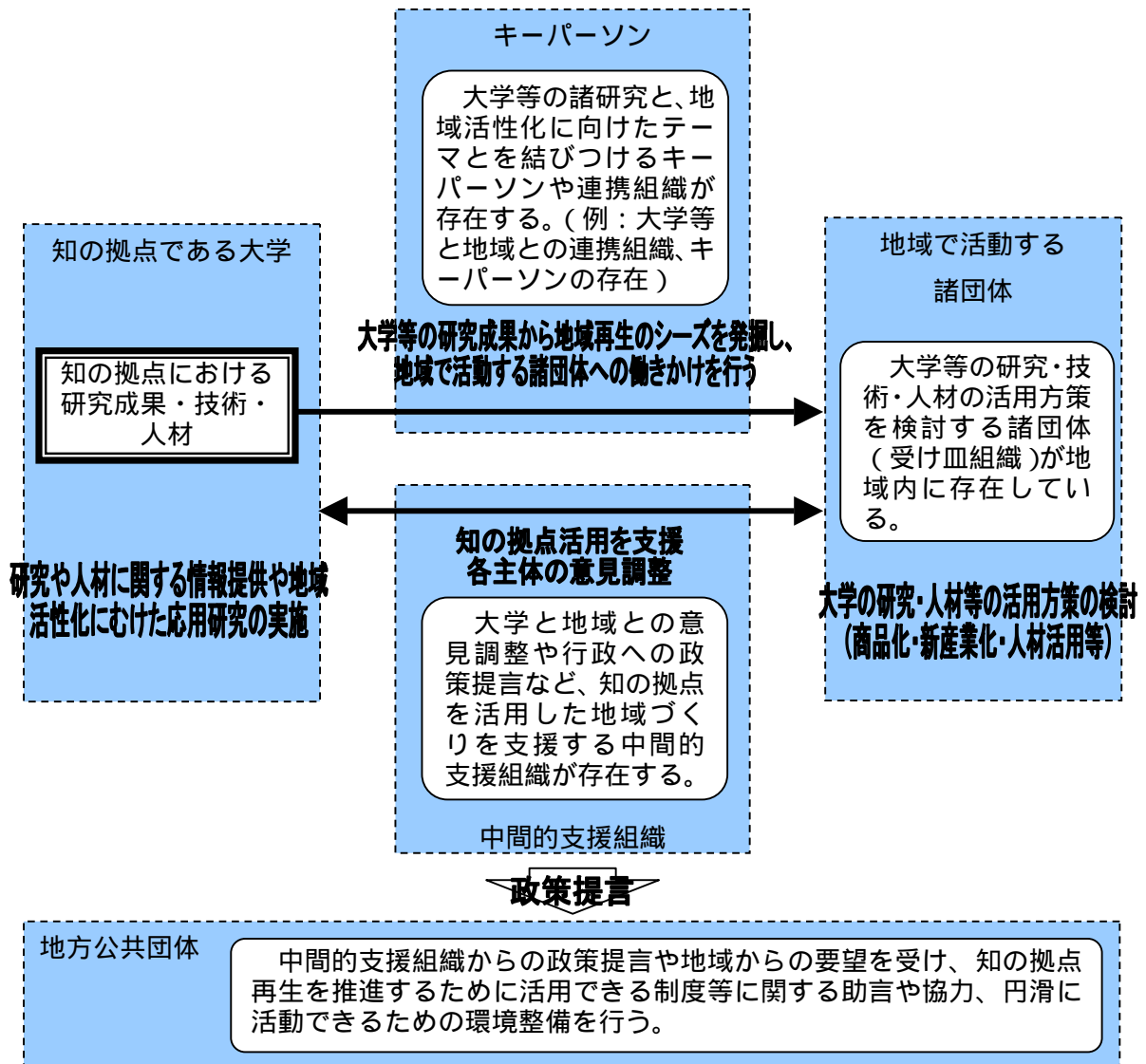
(3) 地域の知の拠点を活用した地域づくりを支援する組織（中間的支援組織）が存在

- (2)で挙げた地域で活動する諸団体は、地域個別の課題や専門的な分野に対して課題を解決する能力を有しているが、地域全体の活性化を推進していくためには、地域の問題を熟知し、様々な専門分野にも長けたトータルマネジメントが重要となってくる。このトータルマネジメントを行う組織は、大学等と地域で活動する諸団体との中間的な位置にあり、大学等や各地域活動諸団体との意見調整や情報等の提供、大学等による地域活性化に寄与する取組を支援する地方公共団体への提言を行う組織（以下、「中間的支援組織（4）」という。）として期待できる。

(4) 地方公共団体は、地域の知の拠点再生を推進するために活用できる制度等に関する助言や協力、円滑に活動できるための環境整備を実施

- 地域の知の拠点再生に向けて、地方公共団体は、大学等を地域づくりのパートナーとして捉え活用していくことが、地域活性化に不可欠と認識し、積極的にこれら取組に対して支援していくことが期待される。
- 支援内容としては、地域の知の拠点再生を推進するために活動できる制度等に関する助言や協力、活動を推進するための環境整備などが考えられる。

図表 2-1 . 地域の知の拠点再生による地域活性化のためのプロセス図



4 中間的支援組織

一般にNPOにおける活動を支援する組織として、資源(人・もの・かね・情報)の仲介やネットワーク促進、政策提言を行う「中間支援組織」が全国で設立され、その必要性が高まってきている。また、「TLO (Technology Licensing Organizationの略称で、大学の研究者の研究成果を特許化し、それを民間企業等へ技術移転する法人であり、産と学の「仲介役」の役割を果たす組織)」や「TMO (Town Management Organizationの略称で、中心市街地活性化のため、様々な活動を行う組織であり、具体的には、様々な主体が参加する街の運営を横断的・総合的に企画調整する組織)」も同様の機能を有する組織といえ、本調査ではこれら組織と同様な役割を果たす組織として「中間的支援組織」と定義する。

3. ケーススタディ調査の指針（調査の取りまとめイメージ）

地域の知の拠点を活用した地域の雇用創出に向けては、大学等と地方公共団体のみでの連携ではなく、様々な組織や団体（大学等の諸研究と地域活性化のテーマとを結びつける組織、地域で活動する諸団体、地域の知の拠点活用に向けた取組を支援する中間的支援組織、地方公共団体等）が、地域の雇用創出に向けた各段階での役割を担うことが重要であり、国はこれら諸団体の活動を支援することが重要であると考えます。

したがって、地域の知の拠点再生による地域活性化プロセス（仮説）に基づき、以下のようにケーススタディ調査を取りまとめる。

（1）調査発案の背景となる地域の現状や課題

調査地区の概要

（記載内容）

- ・ 調査地区の位置や人口
- ・ その他、地区の概要を示す特徴

調査地区における地域経済活動や雇用状況に関する実態

（記載内容）

- ・ 地域経済の動向や有効求人倍率の動向など

地域の雇用創出に向けた課題と地域活性化のテーマ

（記載内容）

- ・ 地域の雇用創出に向け解決すべき課題
- ・ 課題解決に向けた地域活性化のテーマ（例えば、新産業創出、観光、地域医療、環境等）

（2）地域活性化のテーマに関連する取組の現状

官や民の取組の現状

（記載内容）

- ・ 地域の課題の解決や地域活性化のテーマの実現に向けて、これまでの自治体をはじめとする「官」や、民間企業等の「産」、NPO等の「民」による取組の実態
- 地域活性化のテーマを解決すべく大学等の既往研究・人材等の現状

（記載内容）

- ・ 地域課題や地域活性化のテーマに関連する大学等における研究成果や人材等の実態

（3）調査の目的と調査内容

調査の目的

調査の内容及び方法

調査実施の体制と役割

調査概要と結果

(4) 地域の知の拠点活用による地域雇用創出に向けた道筋

大学等の研究等を活用した地域雇用創出に向けた道筋

(記載内容)

- ・ 活用する大学等の研究成果や人材等の内容(いかなる大学等の研究成果や人材等を、いかに活用して、地域の雇用創出につなげていくか)
- ・ 大学等の研究等を活用することで創出される地域雇用の場面(大学等の研究成果や人材等を活用することで、いかなる地域雇用の創出が期待できるか)
- ・ 地域雇用の創出に当たっての解決すべき課題及び解決策(地域雇用の創出に当たって、いかなる課題が想定され、課題解決に向けていかなる解決策・対応策が必要であるか)

留意点

大学等と地域との連携により地域雇用の創出につなげていく上では、様々な段階(例えば、大学等の研究成果と地域ニュースとのマッチングの段階、大学等の研究の商品化等に結びつけるための研究・開発段階、地域雇用創出に向けて具体的な取組を実施する段階など)が想定される。

例:

第1段階：地域と大学等とが連携を行うための働きかけを行う段階

第2段階：地域課題の解決や地域活性化に見合う研究シーズの発掘
大学等の研究成果と地域ニュースとのマッチングの段階)

第3段階：大学等の研究の商品化等に結びつけるための研究・開発段階
(様々な団体・組織が連携により、取組をスタートする段階)

第4段階：地域雇用創出に向けて具体的な取組を実施する段階

地域雇用の創出に当たっての解決すべき課題の記述にあっては、いかなる段階における課題であるかを明記する。

地域雇用創出に向けた地域と大学等との連携のプレイヤー

(記載内容)

- ・ 本事業を実施するにあつての関連するプレイヤーと役割
- ・ 今後、実現に向けて連携する各プレイヤーの役割や体制

(記述例)

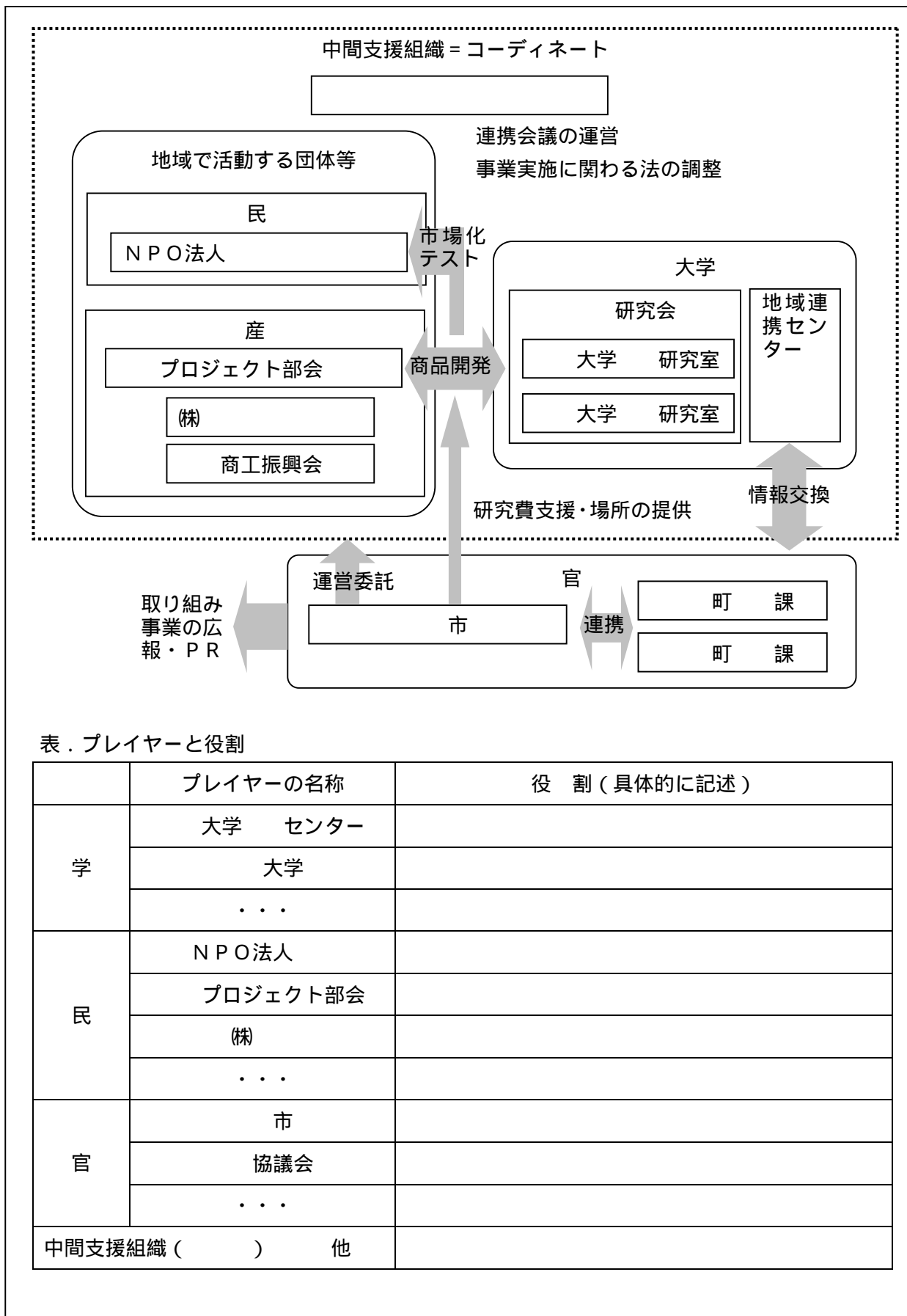


表. プレイヤーと役割

	プレイヤーの名称	役割(具体的に記述)
学	大学 センター	
	大学	
	...	
民	NPO法人	
	プロジェクト部会	
	(株)	
	...	
官	市	
	協議会	
	...	
	中間支援組織() 他	

地域の知の拠点再生による地域活性化プロセスの検討

前述の「地域の知の拠点再生による地域活性化プロセス」における考え方を参考に、以下について検討する。

ア) 大学等の諸研究と、地域活性化に向けたテーマとを結びつけるキーパーソン

ケーススタディ調査の実現化に向けて、大学等の諸研究と地域活性化に向けたテーマとを結びつけるキーパーソンのあり方について記述する。

イ) 大学等の研究・技術・人材の活用方策を検討する地域で活動する諸団体

で整理した連携する諸団体（民や産）と連携する上での課題を整理する。

ウ) 地域の知の拠点活用による地域雇用創出を支援する組織（中間的支援組織）

大学等と地域との連携により地域雇用の創出につなげる取組を実施していく上での「中間的支援組織」の必要性や連携のあり方（役割等）について整理する。

エ) 地域の知の拠点活用による地域雇用創出に向けての行政の役割

大学等と地域との連携により地域雇用の創出につなげていく各段階における行政の役割について整理する。また、地方自治体及び国が支援すべきと考えられる事項について整理する。

オ) その他

ア)～エ)に掲げた組織・団体以外に、連携が必要であると考えられる組織・団体等について整理する。